

分科会開催報告書

報告日 平成30年 5月 2日	報告者 小幡友子
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 第119回浮雲俳句会
開催日時 平成30年 4月29日(日) 午前9時30分～午前11時30分	開催場所 能見台地区センター多目的室—A—
参加人数 “わ”の会会員 男11名 女5名	合計16名 欠席者1名

実施内容

第119回例会は、兼題①帆掛舟②晩春の人事（行事から住まで）。他に当季雑詠2句。計4句。

句会は、大川一馬会員による添削披露及び、鈴木祥代会員による選句の披講の後、北野主宰から天・地・人賞及び、特選5句、佳作8句の発表と、夫々の句についての論評があった。

天賞句	春怒涛遣唐使乗せ帆掛船	一馬
地賞句	気怠げにうるむ眼や孕み鹿	とも女
人賞句	「昭和の日」昭和生まれの春日傘	祥代
特選句	帆掛舟折りて浮かべし春盃	重九
	網棚に草餅匂ふ大江戸線	勇平
	友が逝く雲雀よひばり高く鳴け	あきえ
	吊り革に睡り預ける花疲れ	十九
	桃畑あまた続くや甲斐の国	一悦

会員高点句

9点句	一湾の朧曳きゆく舟一つ	一清
8点句	夫病みて八十八夜の雨やまず	春駒
6点句	花祭り稚児の後ゆく大僧正	三洋

次回の予定

平成30年5月20日(日) 午前9時30分～午前11時30分

金沢地区センター余暇室。120回例会の兼題①ヨット②初夏の人事（農耕から情緒まで）他に当季雑詠2句。披講田中十九会員。